

2022年3月期 決算概要

2022年5月12日

テルモ株式会社

Chief Accounting and Financial Officer

武藤 直樹



おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

テルモ株式会社 IR室

E-mail: kouhou_terumo01@terumo.co.jp

ハイライト

■ Q4/Q4累計実績

- 売上収益：海外が売上を牽引し、過去最高。国内は感染制御製品の需要が一巡
- 調整後営業利益：年初に想定していたマイナス影響に加え、インフレや工場における操業度低下があったものの、海外売上の好調と為替の寄与により、累計で前期比+16%の増益

■ FY22業績予想

- 売上・利益ともに二桁伸長
- コロナ影響からの回復と、各カンパニーの成長ドライバーによる牽引。為替も寄与し、売上・粗利益が増加。インフレ影響は通期で残るも、終盤には幾分緩和されると期待

P&L実績

- 売上収益：四半期及び年度として過去最高。海外における心臓血管、特にTISの需要回復が継続。Q4はTIS・ニューロが好調、為替もポジティブに影響
- 調整後営業利益：予定していた生産調整、中国入札に加え、インフレ影響、工場における操業度低下によるマイナス影響があったものの、海外売上の好調と為替の寄与により、累計で前期比+16%の増益

金額（億円）	FY20 Q4累計	FY21 Q4累計	増減率	為替除く増減率
売上収益	6,138	7,033	15%	10%
売上総利益 (%)	3,266 (53.2%)	3,693 (52.5%)	13%	8%
一般管理費 (%)	1,795 (29.2%)	1,991 (28.3%)	11%	6%
研究開発費 (%)	491 (8.0%)	518 (7.4%)	6%	2%
その他収益費用	3	-25	-	-
営業利益 (%)	984 (16.0%)	1,160 (16.5%)	18%	12%
調整後営業利益 (%)	1,159 (18.9%)	1,344 (19.1%)	16%	10%
税引前利益 (%)	971 (15.8%)	1,145 (16.3%)	18%	
当期利益 (%)	773 (12.6%)	888 (12.6%)	15%	

期中平均レート(USD/EUR)

106円/124円

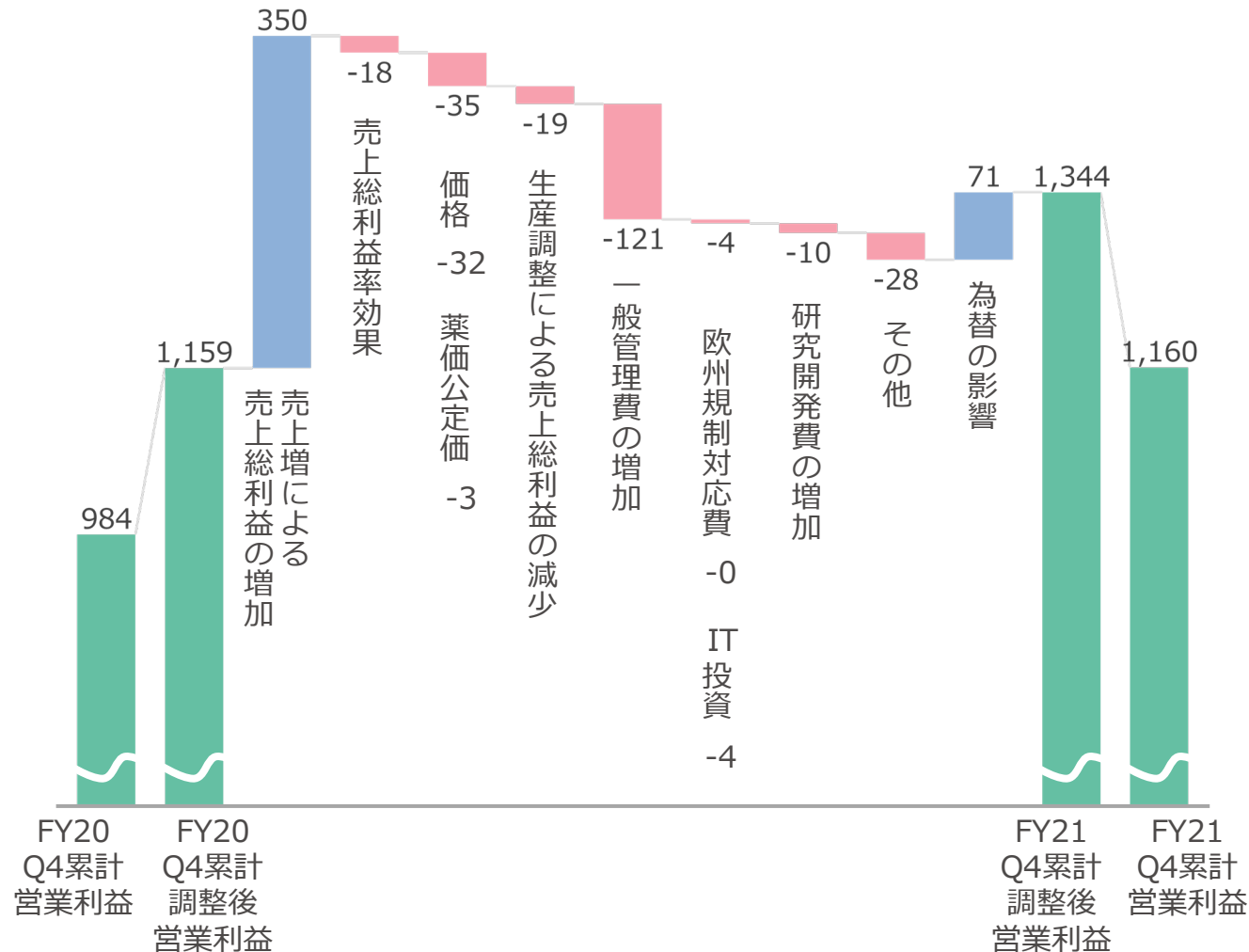
112円/131円

FY20 Q4	FY21 Q4	増減率
1,652	1,798	9%
854 (51.7%)	905 (50.3%)	6%
488 (29.5%)	528 (29.4%)	8%
132 (8.0%)	144 (8.0%)	9%
-2	-18	-
231 (14.0%)	215 (12.0%)	-7%
274 (16.6%)	273 (15.2%)	-1%
221 (13.4%)	215 (11.9%)	-3%
187 (11.3%)	171 (9.5%)	-8%

106円/128円 116円/130円

調整後営業利益増減分析（Q4累計）

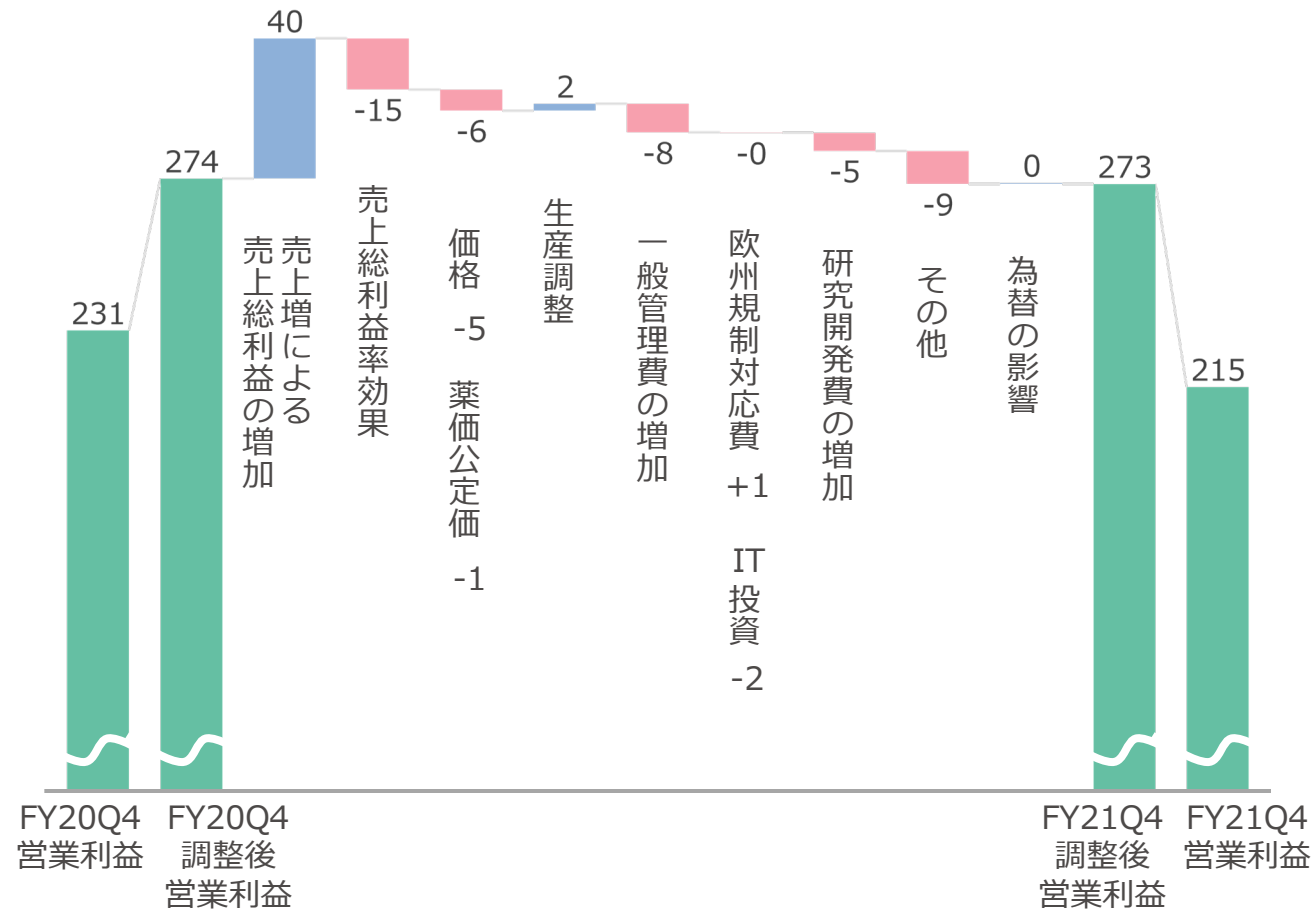
（億円）



- 売上増による売上総利益の増加：
コロナ影響を受けたFY20との比較では、心臓血管を中心に全カンパニーで増収
- 売上総利益率効果：
TISを中心とした心臓血管の売上増によるミックス改善効果を、インフレ（輸送費・原材料費・労務費の高騰）と工場における操業度低下のマイナス影響が上回る
- 価格：
主に中国でのTIS製品入札による価格下落
- 一般管理費の増加：
コロナ影響で費用進捗の遅れたFY20との比較では大きく増加
- 為替の影響：
中国元・ユーロによるフローへのポジティブ影響を、ドル・ユーロによるストックへのネガティブ影響が一部相殺

調整後営業利益増減分析（Q4）

（億円）



- 売上増による売上総利益の増加：
コロナ影響からの回復が進んだ心臓血管の牽引により増収
- 売上総利益率効果：
インフレ（輸送費・原材料費・労務費の高騰）と工場における操業度低下のマイナス影響を受けて減少
- 価格：
中国でのTIS製品入札による価格下落影響は一巡
- 一般管理費の増加：
FY20 Q4との比較では増額も、率では減少
- 為替の影響：
中国元・ユーロによるフローへのポジティブ影響を、ドル・ユーロによるストックへのネガティブ影響が相殺

地域別売上収益

(C&V: 心臓血管、TMCS: メディカルケアソリューションズ、TBCT: 血液・細胞テクノロジー、PS: ファーマシューティカルソリューション)

FY21 Q4累計 地域構成比		売上収益 (億円)		FY21 Q4累計 前年増減率 () 内は為替影響除く	コメント
		Q4累計	Q4		
29%	日本	FY19 1,963	485	2%	TMCSはPSが牽引し堅調、C&VもTIS・ニューロの回復により伸長を継続。TBCTはわずかに減収。 QoQ (FY21 Q3とQ4の比較) ではTMCS・C&Vが、季節要因に加え、医薬品・TISにおけるコロナ影響を受けて減速、TBCTは加速
		FY20 2,018	534		
		FY21 2,061	511		
20%	欧州	1,211	324	17% (10%)	TIS・血管を中心に全カンパニーで伸長を継続。QoQではTMCS・TBCTは堅調、C&Vは血管・CVがコロナ影響を受けて減速
		1,204	328		
		1,404	364		
20%	米州	1,914	498	22% (15%)	TIS・ニューロを中心に全カンパニーで伸長を継続。QoQでも全カンパニーが加速、TIS・ニューロ・PSが牽引
		1,808	497		
		2,204	592		
31%	中国	473	103	30% (18%)	TISを中心に全カンパニーで伸長を継続。ニューロはFY20上期に代理店の受注タイミングのマイナス影響があり、この影響を除くと中国全体で20%の伸長。QoQではQ4に代理店からの注文が集中したニューロを除くと季節要因で減速
		455	121		
		594	147		
8%	アジア他	728	178	18% (12%)	Q3までの順調な回復から、QoQでは全カンパニーで減速。TBCT・TMCSは入札タイミング、C&VはCV・TISへのコロナ再拡大の影響
		654	172		
		770	184		

C&V:

北米・欧州を中心とした症例数の回復、全事業での売上伸長が継続。
下期は利益へのマイナス影響を、売上の好調と為替のプラス影響により低減

(億円)

	Q4累計			Q4			コメント	Q4累計 売上増減
売上 収益	() 内は為替影響除く						TIS	
	3,506	3,285	3,971				: 北米・欧州を中心とした海外の回復が継続。QoQ（FY21 Q3とQ4の比較）では、Q4前半にオミクロン株拡大による症例減があったものの、アクセス製品を中心に急速な回復が見られ、全体で一桁前半のQoQ伸長	+433
			+21% (+14%)	871	901	1,027	ニューロ: 北米・欧州を中心とした脳動脈瘤治療の回復が継続。血栓吸引カテーテルも高成長を維持。QoQでは、Q4に代理店からの受注が集中した中国を除くとほぼ横ばい	+131
調整後 営業利益							CV	
	869	744	932				: 北米・欧州における顕著な症例回復に加え、病院の投資再開により装置売上も好調。QoQでは北米が牽引するも、オミクロン株拡大の影響を受け、全体で一桁中盤のQoQ減少	+58
			+25% (+16%)	181	184	209	血管: 欧州・北米を中心に回復基調が継続。QoQでは北米が牽引するも、オミクロン株拡大の影響を受け、全体で一桁中盤のQoQ減少	+64
調整後 営業利益率	FY19	FY20	FY21	FY19	FY20	FY21	利益:	
	25%	23%	23%	21%	20%	20%	中国入札や、在庫水準適正化に向けた生産調整に加え、インフレや工場操業度の低下によるマイナス影響を受けたものの、売上の好調と為替のプラス影響により一部相殺	

TMCS:

ポンプや輸液関連製品を中心にHCSが牽引するも、
下期は利益に対する複数のマイナス要因が顕在化

(億円)

Q4累計			Q4			コメント		Q4累計 売上増減
() 内は為替影響除く						※HCS: ホスピタルケアソリューション (旧 医療器 + 医薬品)、LCS: ライフケアソリューション (旧 DM・ヘルスケア)、PS: ファーマシューティカルソリューション (旧 アライアンス)		
1,710 1,755 1,853 +6% (+4%)			432 465 466 +0%			HCS : アジア・日本を中心とした針・シリンジ、輸液関連製品の需要回復や、コロナ対応のためのポンプ需要が牽引し、一桁後半の伸長。感染対策製品は需要が一巡。疼痛緩和製品と癒着防止材は好調を継続。QoQ (FY21 Q3とQ4の比較) では、ポンプが好調に推移したものの、医薬品を中心にオミクロン株拡大の影響に伴う需要減があり、一桁中盤のQoQ減少		+73
252 257 236 -8% (-5%)			54 53 43 -19%			LCS : 体温計の需要が一巡するも、血圧計がアジア・日本で好調を継続。QoQではほぼ横ばい		+5
						PS : CDMOビジネスが牽引し、一桁後半の伸長		+20

FY19 FY20 FY21			FY19 FY20 FY21			利益 : インフレや、複数回に渡るコロナ再拡大による需要減、体温計の需要一巡による製品ミックスの平常化、中国での製造原価に対する為替のマイナス影響を、売上突き抜けにより一部相殺		
15% 15% 13%			13% 11% 9%					

TBCT:

全血採血を中心に、需要回復が継続。下期は利益へのマイナス影響が嵩んだものの、累計では前年に改善した利益率水準を維持

(億円)

Q4累計			Q4			コメント	Q4累計 売上増減
() 内は為替影響除く							
1,0721,0951,206 +10% (+5%)			284285304 +7%			血液センター：全血採血が欧州・北米を中心に回復継続。成分採血製品も中国で好調、コロナ回復期血漿の需要減速の影響を押し返す。 QoQ（FY21 Q3とQ4の比較）では北米・欧州が牽引するも、アジア・中国における入札や受注タイミングの影響により一桁中盤のQoQ減少	+74
151191208 +9% (+1%)			464737 -21%			アフレス治療：症例数の増加に応じて病院が投資を進め、北米・欧州で二桁伸長を継続。QoQでは中国・アジアでの受注タイミングの影響により一桁中盤のQoQ減少 細胞処理：北米を中心にFY20下期以降はコロナ影響から回復し、成長軌道へ	+29 +8
FY19	FY20	FY21	FY19	FY20	FY21	利益：インフレ、工場における操業度低下の影響や、新規事業の準備費用、生産移管スケジュールの前倒しを受けて減少したものの、売上好調や為替のプラス影響により一部相殺。累計では前年に改善した利益率水準を維持	
14%	17%	17%	16%	16%	12%		

FY22業績予想： 売上・利益ともに二桁成長

- コロナ影響からの回復と、各事業の成長ドライバーによる牽引。為替もポジティブに寄与し、売上・粗利益が増加
- インフレ影響は通期で残るも、終盤には幾分緩和されると期待

() 内は為替影響除く

金額（億円）	FY21実績	FY22業績予想	増減率
売上収益	7,033	7,750	10% (6%)
営業利益	1,160	1,320	14% (9%)
(%)	16.5%	17.0%	
調整後営業利益	1,344	1,510	12% (7%)
(%)	19.1%	19.5%	
当期利益	888	1,000	13%

為替レート(USD/EUR)

112円/131円

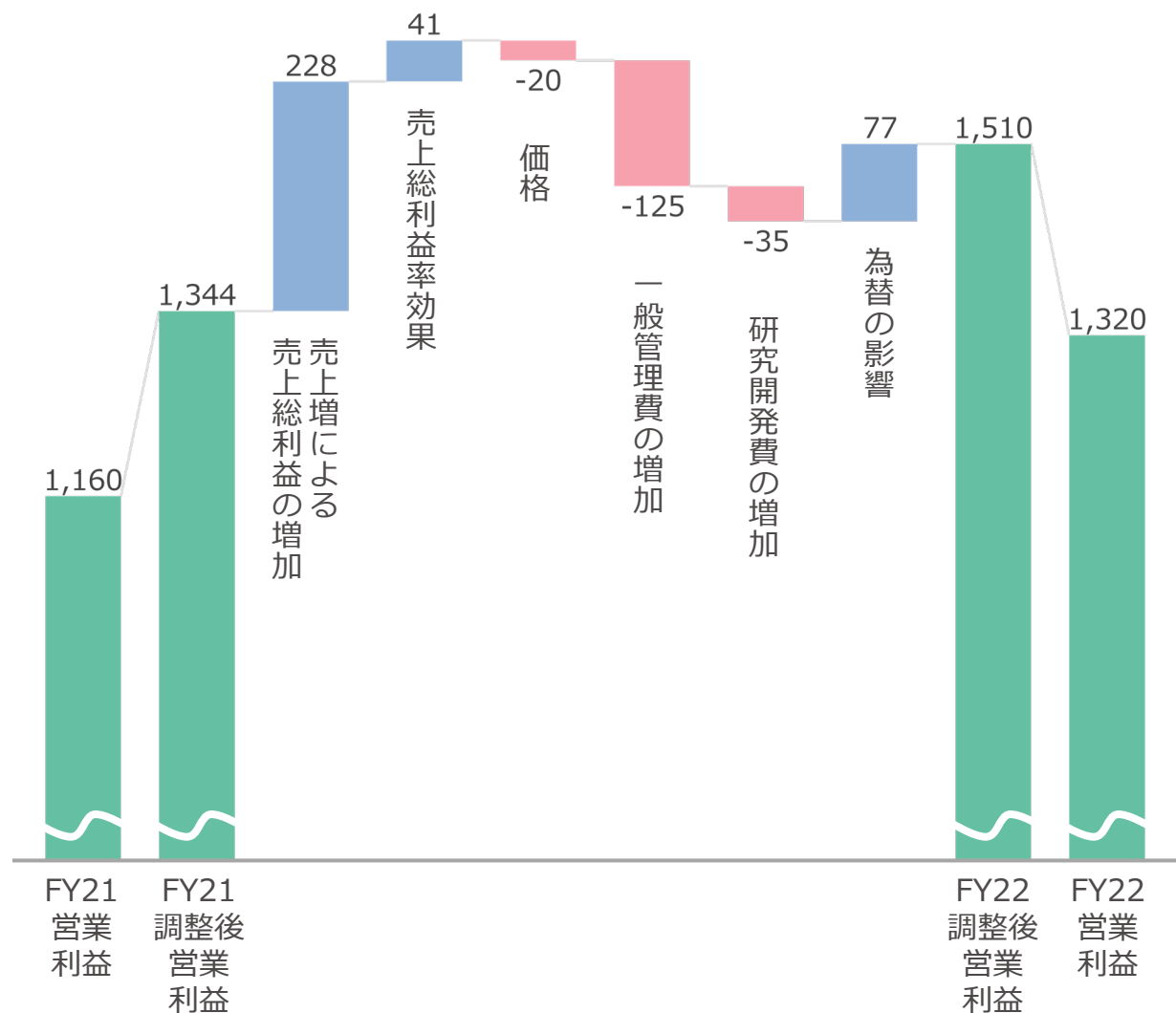
125円/135円

() 内は為替影響除く

FY22カンパニー別 金額（億円）	売上収益		調整後営業利益	
	金額	増減率	金額	増減率
C&V	4,445	12% (6%)	1,134	22% (10%)
TMCS	1,923	4% (2%)	223	-6% (1%)
TBCT	1,380	14% (9%)	182	-13% (-3%)

FY22業績予想 利益増減要因

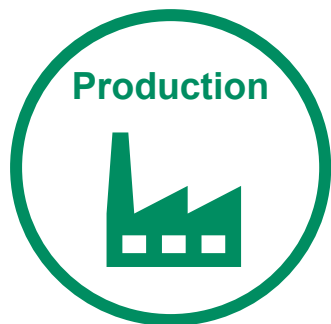
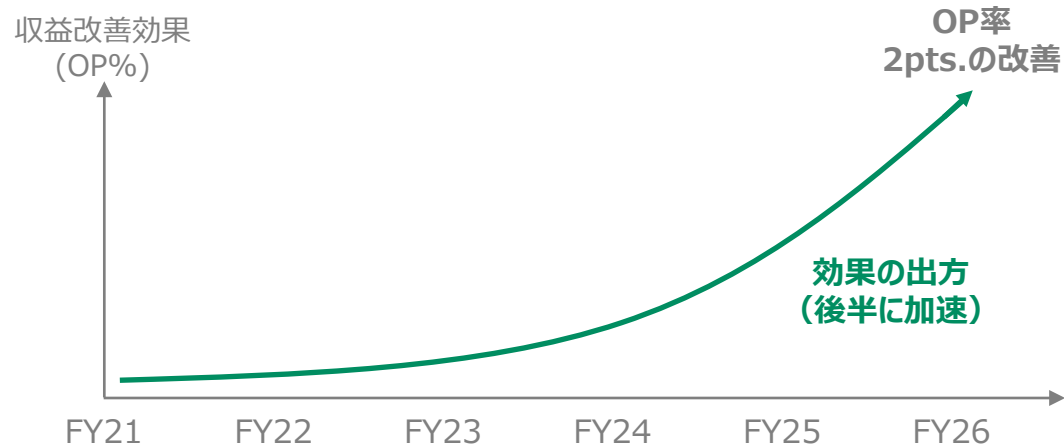
(億円)



- 売上増による売上総利益の増加：
心臓血管を中心に全カンパニーで増収
- 売上総利益率効果：
工場における操業度改善およびミックス改善が、インフレ（輸送費・原材料費・労務費の高騰）の影響を上回る
- 価格：
薬価公定価改定の影響
- 一般管理費の増加：
コロナ影響の反動と、新事業への戦略的費用投下
- 為替の影響：
中国元・ユーロの円安効果

FY22における収益改善の取り組み

4つの領域で活動を本格展開



生産技術のベストプラクティスを横展開、新興国生産拠点での生産性を改善

→ FY22: 現生産の工程分析、製造アーキテクチャー解析を行い、改善対象を選定
FY23: 生産性改善の取り組み開始



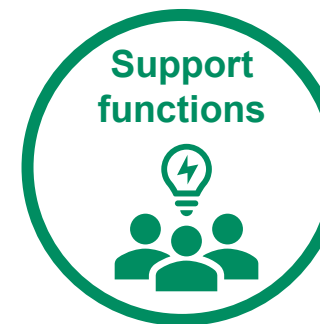
USにおける物流ネットワーク最適化に向けたDistribution Centerの集約・開設を検討

→ FY22: 各事業の物流網の把握、ヒートマップ作製で最適ロケーションの確定
FY23以降: 物流費率の削減に寄与



直接材の価格の最適化、安定供給に向けた取り組み

→ FY22: リスク分析・BCM設計・進捗管理を調達BCMポリシーとしてグローバル展開
FY23: 代替原材料の検討や、精度向上による無駄排除で、原材料費の削減を目指す



間接部門のGBS化を検討
拠点オフィスの集約、保険の包括契約等、事業横断の活動

→ FY22: 一部経理業務のシェアード化を開始
FY23以降: シェアード業務拡大に伴い販管費率の削減に寄与

配当案および自己株式取得

■ 配当案： 21年度 年間34円（従来予想から2円増配）

- 安定的に配当を増やし、中長期的に配当性向30%を目指す
- 22年度は年間36円とし増配維持

	FY21実績	FY22予想
当期利益（億円）	888	1,000
EPS（円）	117	134
配当案/株	34.0円 中間16.0 期末18.0	36.0円 中間18.0 期末18.0
配当性向	28.9%	26.9%

■ 自己株式取得枠設定： 500億円

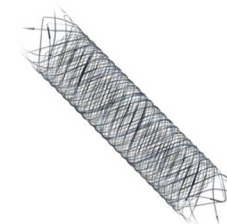
- 今回取得する自己株式は消却することを決議

製品パイプラインとトピックス

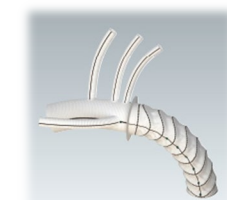
主要製品の発売・適応取得状況

※ C&V: 心臓血管、TMCS: メディカルケアソリューションズ、TBCT: 血液・細胞テクノロジー、HCS: ホスピタルケアソリューション、LCS: ライフケアソリューション

領域	一般名	製品名	FY21まで	FY22	FY23以降
TIS	薬剤溶出型冠動脈ステント	Ultimaster Nagomi	日本で販売	欧州で発売	アジア・中南米で発売
ニューロ	血流改変ステント	FRED X	欧州・米国で販売	米国で拡販、地域拡大	
血管	胸部大動脈ステントグラフト	Relayシリーズ	欧州で販売、米国・日本で瘤の適応取得	米国で解離と外傷性損傷、日本で解離の適応取得	品種追加、RelayBranchの臨床試験を実施
HCS	汎用輸液ポンプ	テルフュージョン輸液ポンプ18型	日本で販売	欧州・中南米で発売	アジアで発売
LCS	パッチ式インスリンポンプ	メディセーフウィズシリーズ	現行モデルを日本・欧州で販売	改良品を日本で発売	Diabeloop社とのAIDシステム連携、地域拡大検討
TBCT	細胞増殖システム	Quantum Flex	Quantumをグローバルで販売	品種追加としてQuantum Flexを発売	細胞処理事業で二桁成長を目指す



「FRED X」



「Thoraflex Hybrid」

主なトピックス

- ・ 全社： 2040年カーボンニュートラル宣言を発表、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言に賛同
- ・ C&V： ハイブリッド型オープンステントグラフト「Thoraflex Hybrid」が米国での販売承認を取得
- ・ TMCS： Glooko社とインスリンポンプの新たなデータ共有ソリューションを開発
- ・ TBCT： 原料血漿採取システム「Rika」が米国FDA認証を取得



「Rika」

参考資料

売上明細（地域別・事業別）

2021年度 セグメント別売上収益

Revenue by Segment for FY2021

(百万円 / millions of yen)

		FY2020							FY2021														構成比 % to total
		日本 JPN	海外 Overseas	欧州 Europe	米州 Americas	中国 China	アジア他 Asia and others	合計 WW	日本 JPN	%YoY	海外 Overseas	%YoY	欧州 Europe	%YoY	米州 Americas	%YoY	中国 China	%YoY	アジア他 Asia and others	%YoY	合計 WW	%YoY	
心臓血管 カンパニー	TIS	31,337	189,290	52,996	84,648	29,180	22,464	220,628	32,110	2.3%	231,837	22.5%	63,185	19.2%	105,515	24.7%	36,048	23.3%	27,088	20.6%	263,947	19.6%	37.3%
	ニューロバスキュラー	4,880	40,136	13,817	17,472	4,988	3,857	45,016	5,446	11.6%	52,708	31.3%	16,564	19.9%	22,441	28.4%	9,355	87.6%	4,346	12.7%	58,155	29.2%	8.3%
	カーディオバスキュラー	11,402	30,180	5,239	18,920	1,510	4,509	41,582	10,806	-5.2%	36,543	21.1%	6,334	20.9%	23,114	22.2%	2,001	32.5%	5,093	12.9%	47,350	13.9%	6.7%
	血管	2,587	18,735	10,469	5,938	1,340	987	21,322	2,780	7.5%	24,896	32.9%	13,712	31.0%	8,498	43.1%	1,536	14.7%	1,148	16.4%	27,677	29.8%	3.9%
Cardiac and Vascular Company		50,208	278,341	82,523	126,978	37,019	31,818	328,549	51,144	1.9%	345,986	24.3%	99,796	20.9%	159,570	25.7%	48,942	32.2%	37,677	18.4%	397,130	20.9%	56.5%
メディカルケア ソリューションズ カンパニー	ホスピタルケアソリューション	97,303	23,208	2,539	6,593	1,262	12,813	120,712	100,303	2.9%	27,737	19.5%	2,758	8.6%	7,996	21.3%	1,370	8.5%	15,611	21.8%	128,041	6.1%	18.2%
	ライフケアソリューション	23,319	2,883	798	11	976	1,096	26,202	22,949	-1.6%	3,740	29.7%	822	3.0%	38	224.0%	1,078	10.3%	1,801	64.2%	26,690	1.9%	3.8%
	ファーマシューティカルソリューション	18,316	10,313	6,903	2,448	183	778	28,630	19,482	6.4%	11,121	7.8%	7,481	8.4%	2,573	5.1%	217	18.4%	849	9.1%	30,603	6.9%	4.4%
Medical Care Solutions Company		139,139	36,405	10,241	9,053	2,422	14,688	175,545	142,735	2.6%	42,599	17.0%	11,063	8.0%	10,608	17.2%	2,666	10.1%	18,262	24.3%	185,335	5.6%	26.4%
血液・細胞 テクノロジー カンパニー	血液センター	11,549	69,682	21,376	27,271	5,242	15,791	81,231	11,407	-1.2%	77,190	10.8%	22,715	6.3%	30,316	11.2%	6,372	21.5%	17,786	12.6%	88,597	9.1%	12.6%
	アフェシス治療他	453	20,055	5,301	11,239	690	2,823	20,508	433	-4.4%	22,958	14.5%	5,946	12.2%	12,099	15.7%	1,062	53.8%	2,950	4.5%	23,392	14.1%	3.3%
	細胞処理	151	7,599	945	6,255	149	248	7,750	171	13.3%	8,424	10.9%	896	-5.2%	6,905	10.4%	306	105.8%	315	26.7%	8,596	10.9%	1.2%
Blood and Cell Technologies Company		12,154	97,336	27,624	44,765	6,082	18,864	109,491	12,012	-1.2%	108,573	11.5%	29,558	7.0%	50,221	12.2%	7,741	27.3%	21,052	11.6%	120,586	10.1%	17.1%
その他	Others	256	-	-	-	-	-	256	251	-2.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	251	-2.0%	0.0%
合計	Total	201,758	412,084	120,389	180,798	45,525	65,371	613,842	206,143	2.2%	497,159	20.6%	140,417	16.6%	220,400	21.9%	59,350	30.4%	76,991	17.8%	703,303	14.6%	100.0%
売上比率	% to Total	32.9%	67.1%	19.6%	29.5%	7.4%	10.6%	100.0%	29.3%		70.7%		20.0%		31.3%		8.4%		10.9%		100.0%		

(期中平均為替レート)

(Average Exchange Rates)

(USD1=¥106.10)

(EUR1=¥123.76)

(USD1=¥112.39)

(EUR1=¥130.55)

* FY2021より「中国」の売上を開示しているため、「アジア他」から「中国」の売上を除いております。

* Sales in China is not included in "Asia and others" from this reportable segment.

* 2022年度より、従来の「ホスピタルカンパニー」のセグメント名称を「メディカルケアソリューションズカンパニー」に変更しています。なお、サブセグメントにつきましては、従来の、医療器事業と医薬品事業が「ホスピタルケアソリューション」に、DM・ヘルスケア事業が「ライフケアソリューション」に、ファーマシューティカル事業が「ファーマシューティカルソリューション」に変更となっています。これに伴い、2020年度および2021年度につきましても、変更後の名称で記載しています。

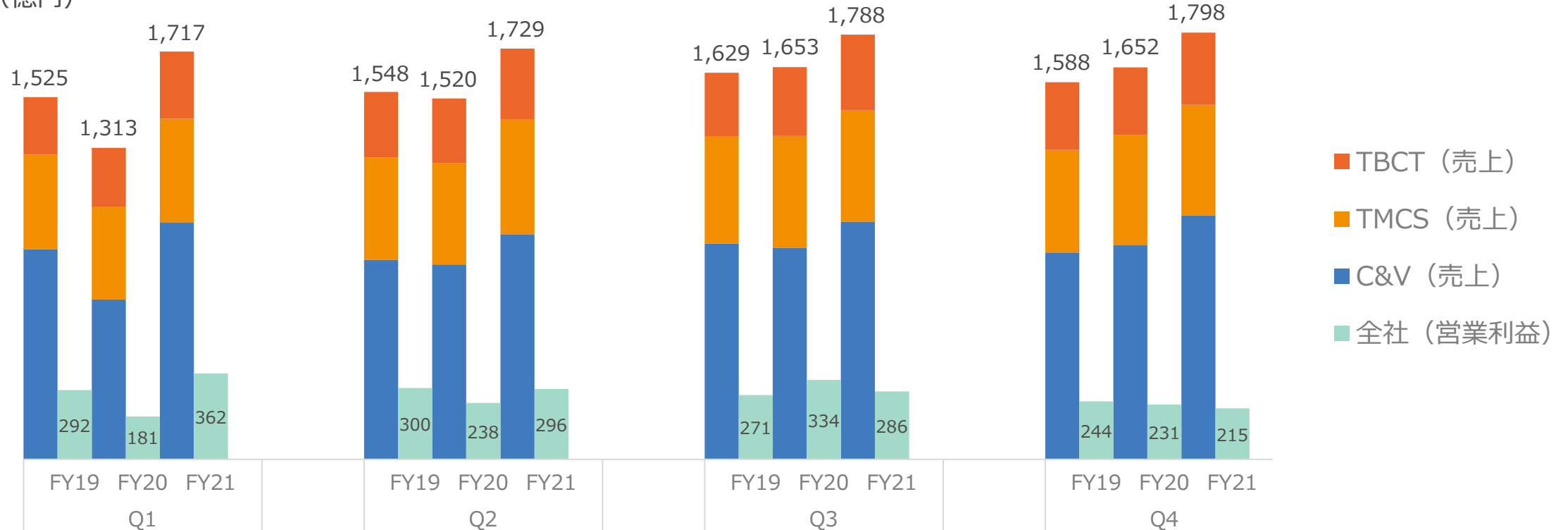
* Effective fiscal 2022, the segment name of the former "General Hospital Company" has been changed to "Medical Care Solutions Company". As for sub-segments, the former "General Hospital Products" and "Pharmaceutical" have been combined into "Hospital Care Solutions", "DM and Consumer Healthcare" has been renamed "Life Care Solutions", and the "Alliance" has been renamed "Pharmaceutical Solutions". In accordance with this change, the fiscal 2020 and 2021 figures are also listed under the new names.

売上収益・営業利益の四半期推移

売上収益： Q4実績はFY20比9%伸長、FY19比は心臓血管が18%伸長と牽引し、全体でも13%伸長。
為替（ユーロ等）もプラスの影響

営業利益： Q4実績はインフレや工場における操業度低下の影響を受けたものの、売上好調と為替の
プラス影響により一部相殺

(億円)



P&L（四半期推移）

（億円）

	FY20 Q4 (1-3月)	FY21 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)
売上収益	1,652	1,717	1,729	1,788	1,798
売上総利益	854 (51.7%)	943 (54.9%)	920 (53.2%)	926 (51.8%)	905 (50.3%)
一般管理費	488 (29.5%)	465 (27.1%)	490 (28.4%)	507 (28.4%)	528 (29.4%)
研究開発費	132 (8.0%)	117 (6.8%)	130 (7.5%)	128 (7.2%)	144 (8.0%)
その他収益費用	-2	1	-3	-5	-18
営業利益	231 (14.0%)	362 (21.1%)	296 (17.1%)	286 (16.0%)	215 (12.0%)
調整後営業利益	274 (16.6%)	402 (23.4%)	339 (19.6%)	330 (18.5%)	273 (15.2%)

四半期	USD	106円	110円	110円	114円	116円
平均レート	EUR	128円	132円	130円	130円	130円

販管費（四半期推移）

(億円)

		FY20 Q4 (1-3月)	FY21 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)
人件費		240	249	249	255	256
販促費		43	30	40	44	45
物流費		37	38	39	39	41
償却費		49	48	50	51	54
その他		119	99	112	118	132
一般管理費計 (%)		488 (29.5%)	465 (27.1%)	490 (28.4%)	507 (28.4%)	528 (29.4%)
研究開発費 (%)		132 (8.0%)	117 (6.8%)	130 (7.5%)	128 (7.2%)	144 (8.0%)
販管費合計 (%)		620 (37.5%)	581 (33.9%)	621 (35.9%)	635 (35.5%)	672 (37.3%)
四半期 平均レート	USD	106円	110円	110円	114円	116円
	EUR	128円	132円	130円	130円	130円

販管費（前年同期比）

（億円）

	FY20 Q4累計	FY21 Q4累計	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	928	1,010	82	9%	4%
販促費	128	160	31	24%	20%
物流費	144	157	14	10%	6%
償却費	191	203	12	6%	3%
その他	404	461	57	14%	10%
一般管理費計	1,795	1,991	196	11%	6%
(%)	(29.2%)	(28.3%)			

研究開発費	491	518	27	6%	2%
(%)	(8.0%)	(7.4%)			

販管費合計	2,286	2,509	223	10%	5%
(%)	(37.2%)	(35.7%)			

FY20 Q4	FY21 Q4	増減	増減率
240	256	16	7%
43	45	2	6%
37	41	4	10%
49	54	5	11%
119	132	12	10%
488	528	40	8%
(29.5%)	(29.4%)		

132	144	12	9%
(8.0%)	(8.0%)		

620	672	51	8%
(37.5%)	(37.3%)		

調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY20 Q4累計	FY21 Q4累計	FY20 Q4	FY21 Q4
営業利益	984	1,160	231	215
調整① 買収無形資産の償却費	146	161	38	42
調整② 一時的な損益	29	24	5	16
調整後営業利益	1,159	1,344	274	273

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整②「一時的な損益」の主な項目	FY21 Q4累計	FY21 Q4
事業再編費用	16	10
その他	8	6

設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22予想
設備投資	608	895	772	692	900
償却費	440	477	484	532	635
買収無形償却費	146	157	146	161	173
それ以外	294	320	338	371	462

設備投資は建設仮勘定計上ベース、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

■ FY21実績（692億円）：主にTIS、ニューロ、PS、血液・細胞テクノロジー等の増産設備、生産スペース、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続

■ FY22は上記案件の投資を継続実施

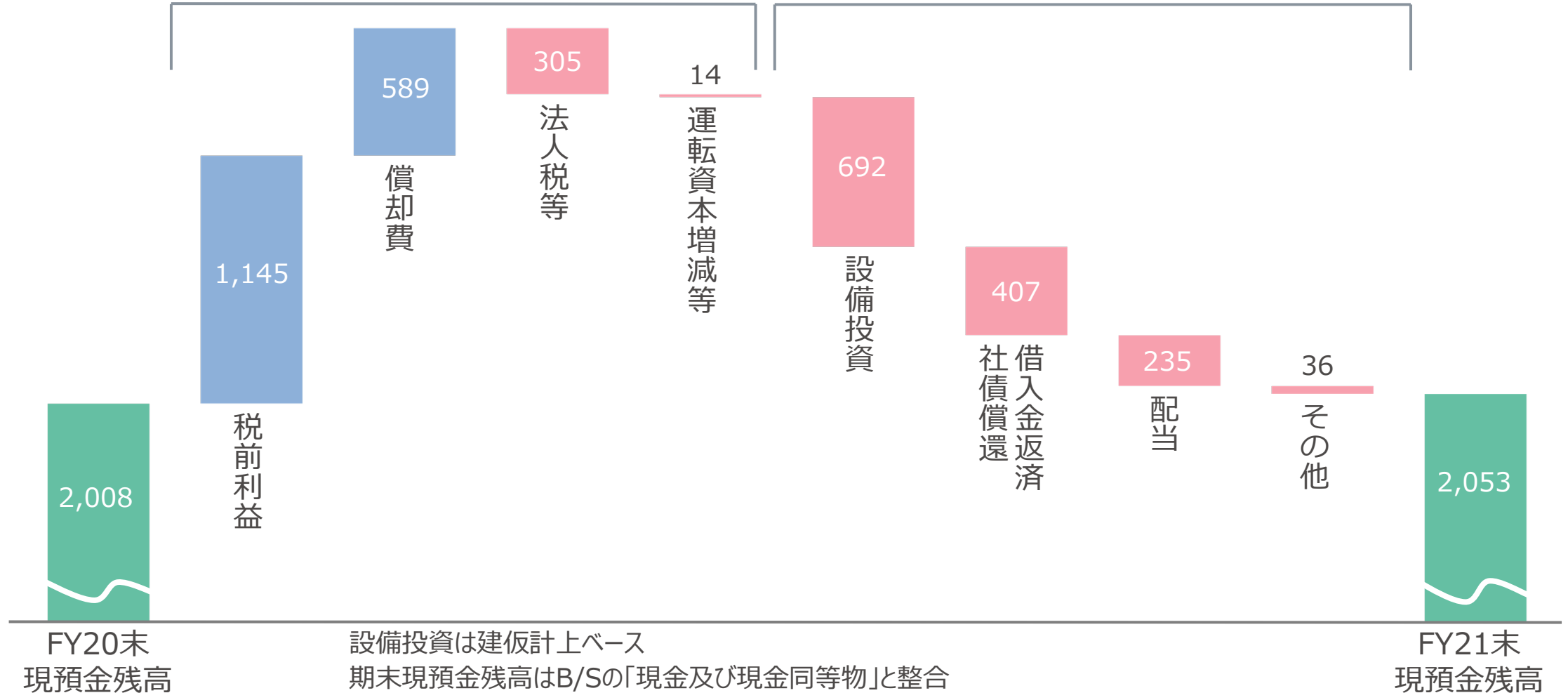
	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22予想
研究開発費	477	506	491	518	580

キャッシュフロー（Q4累計）

営業キャッシュフロー
+1,415

投資・財務キャッシュフロー
-1,370

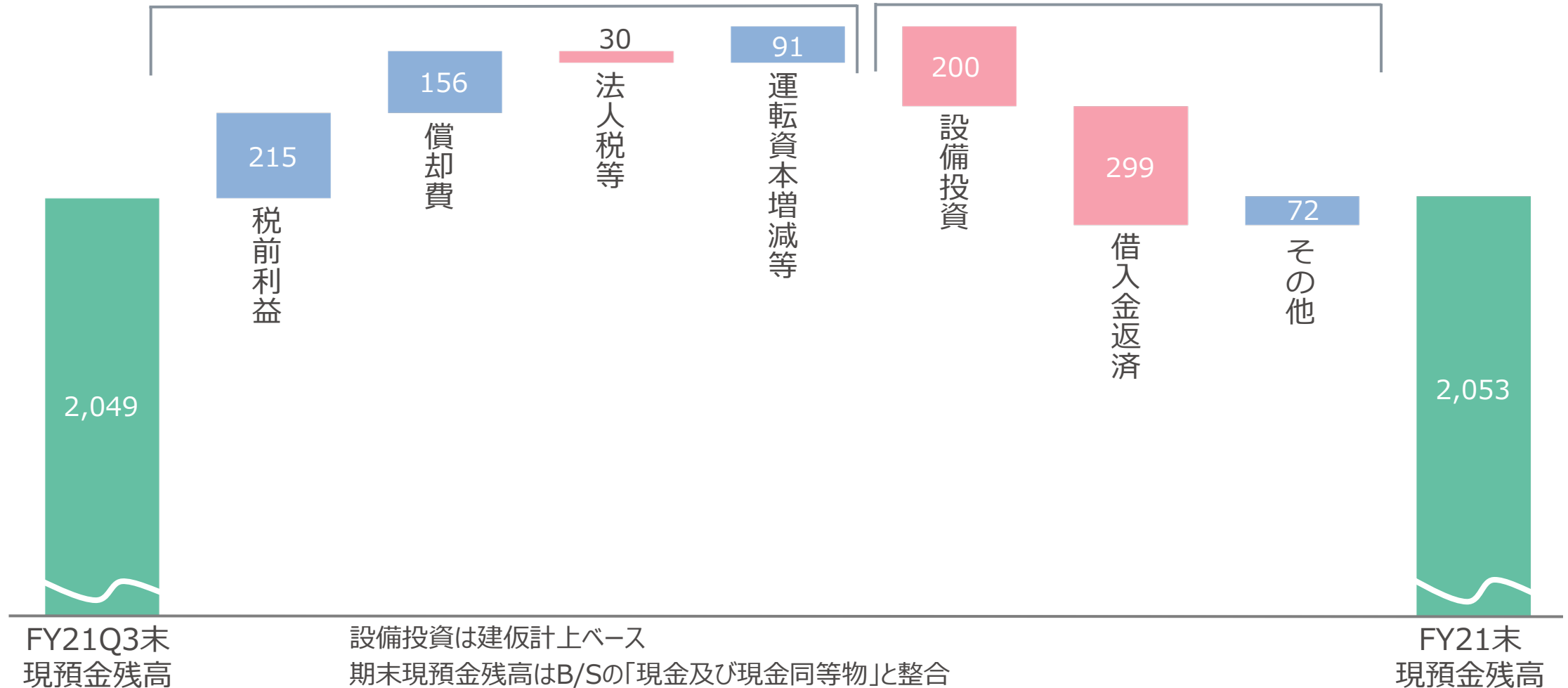
（億円）



キャッシュフロー（Q4）

営業キャッシュフロー
+431

投資・財務キャッシュフロー
-428 (億円)



FY21 為替影響の内訳（フロー・ストック）

■ 対FY20 為替影響 +71億円： Q3累計+71億円から変化なし

■ フロー 年間+87億円（Q4は+18億円）：ユーロ高・中国元高によるプラス効果

レート（円）	FY20 期中平均	FY21期中平均	差異
EUR	124	131	7
中国元	15.7	17.5	2

■ スtock 年間-16億円（Q4は-18億円）：棚卸資産未実現利益消去への為替影響

- ・ Q3と比べてQ4に急激な円安が進行、期中平均と期末日レートの差が拡大 → マイナス影響

レート（円）	FY21 Q3 期中平均	FY21 12月末	差異
USD	114	115	1
EUR	130	131	0



レート（円）	FY21 Q4 期中平均	FY21 3月末	差異
USD	116	122	6
EUR	130	137	6

為替感応度

1円の円安に対しての年間影響額

(億円)

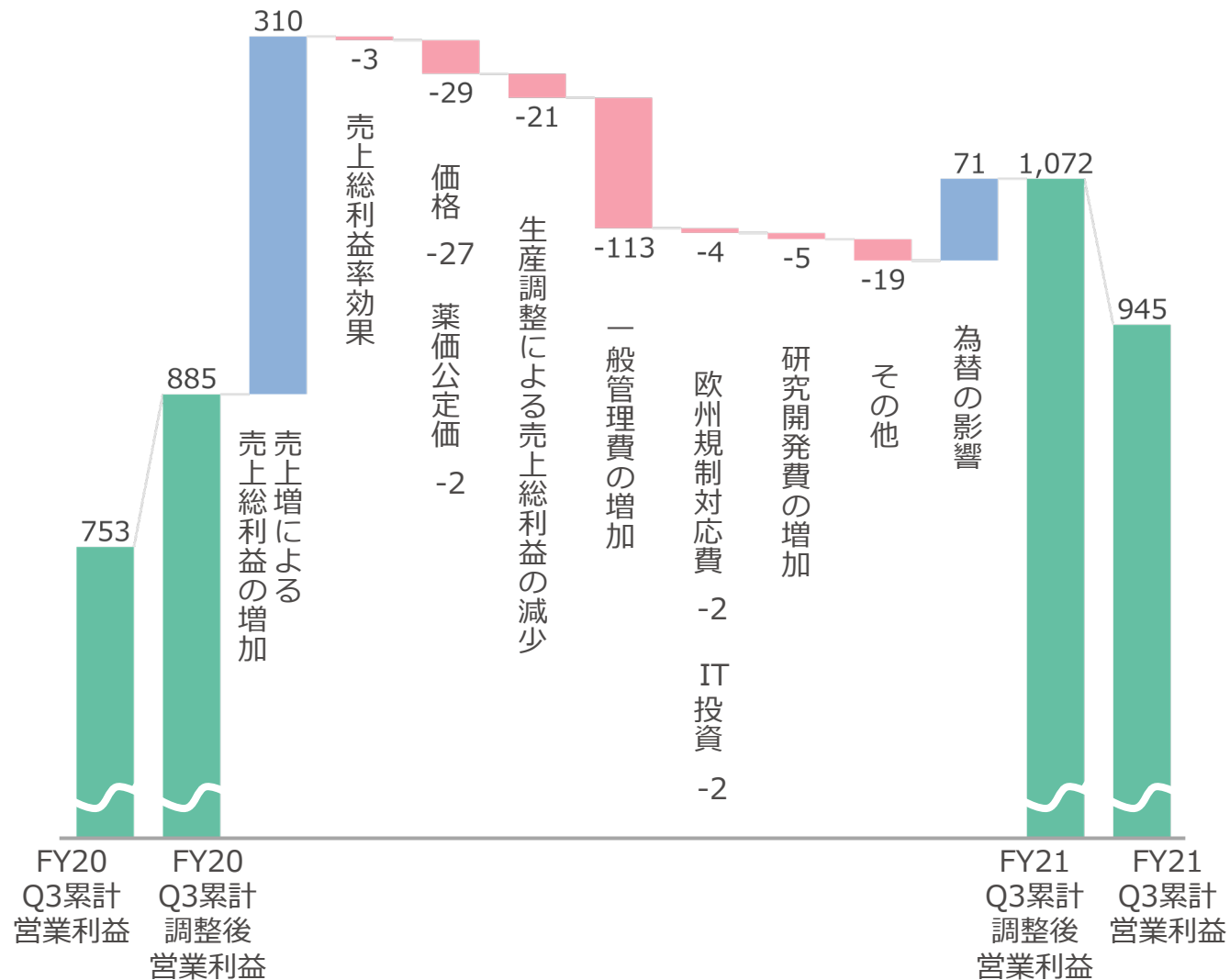
	USD	EUR	中国元
売上収益	17	8	35
調整後営業利益	0	5	15

<参考> 10%円安に動いた時のインパクト

	北米	中南米	欧州		アジア	
			ユーロ圏	その他	中国元	その他
調整後営業利益	-1	10	65	13	23	36

調整後営業利益増減分析（Q3累計）

（億円）



- 売上増による売上総利益の増加：
コロナ影響を受けたFY20 Q3累計との比較では、心臓血管を中心に全カンパニーで増収
- 売上総利益率効果：
インフレ（輸送費・原材料費・労務費の高騰）と工場における操業度低下のマイナス影響が、TISを中心とした心臓血管の売上増によるミックス改善効果を上回る
- 価格：
主に中国でのTIS製品入札による価格下落
- 一般管理費の増加：
コロナ影響で費用進捗の遅れたFY20 Q3累計との比較では大きく増加
- 為替の影響：
主に中国元・ユーロがフローに影響。ストックへの影響は軽微

